

令和3年度 第1回岩美町立図書館協議会 議事概要

1 日 時 令和3年6月30日(水) 午後2時～3時15分

2 場 所 岩美町中央公民館 2階 研修室3・4

3 出席者

(委員) 小谷節子委員(会長)、小山富一委員、石河和子委員
米村裕子委員、向家仁委員、三田祐子委員、稲葉扶美子委員
森田るり子委員、山崎章誉委員、欠席者：大塩晋委員
(事務局) 教育長 寺西健一、社会教育係長 寺本謙吾
図書館長 坂口雅人、図書館司書 松本澄恵

4 概要

(1) 報告・協議事項

①町立図書館の運営(令和2年度事業実績、令和3年度事業計画)について

(委員) 蔵書数は他館と比べてどうか。

⇒同規模の図書館でも少ない。県立は約120万冊

それを補う方法として、相互貸借で他館との貸し借りをを行っている。

(委員) セット貸出しを多くすると、図書館の本が少なくなるのでは。入館者を増やすために貸出期間を2週間から1週間に短くするという考えはないか。

⇒利用者にとっては、1週間の貸出期間では短いのではないか。利用者の利便性を第一に考えていきたい。

(委員) 県立は2週間だったが、コロナ感染症対策として何回も来ていただかなくてもよいように3週間としている。

(委員) 鳥取・岩美の寄贈はどのような本か。

⇒自治体から送られてくる遺跡調査などの報告書がほとんどだ。

また、昨年度は2名の方から多額の寄付をいただき、その分本を購入した。

(委員) 中高生の利用の状況はどうか。

⇒昨年度はコロナ感染症対策のため、閲覧席を減らしたりスタディルームを閉鎖したりして、ご迷惑をかけている。その中でも、それなりに利用していただいているが、そんなに多くはない。同じようなメンバーが利用している。

(委員) 図書館に関わる中高生の活動はあるのか。

⇒特にはない。

(委員) 絵本や児童図書など令和元年と比べ減少しているが、コロナの影響で子供の利用者が減ったのか。

⇒令和元年度は、リニューアルオープンがあり、各保育所、小学校から先生に引率され多くの子供たちが来館し、多くの本を借りていただいた。その影響が大きかったと思う。そのほかは例年と変わらないと思っている。

(委員) 小学校で読み聞かせができなくなったのも影響していると思う。令和3年度も読み聞かせは始められていない。感染対策を講じながらでもできると思うので、教育委員会から小学校へ働きかけてほしい。

⇒コロナとの付き合い方を考えながら検討したい。小学校が3校あるので、同じ対応をしたい。

(委員) セット貸出について、地区公民館に行くと50冊くらいしかない館もあり、ものすごく寂しく感じる。もっと多くの本を持っていくべきではないか。

⇒地区公民館の主事と相談して貸出する本の冊数を決めさせているので、改めて主事と相談したい。

(委員) わらべ館の本は、貸出禁止なのか。

⇒わらべ館は図書館ではないので貸出しはできないのではないかな。

(委員) リズム教室の内容は。

⇒ドラムなどの打楽器を使う予定だ。

(委員) 書籍棚の1段目、2段目が低すぎて選びにくい。何とかならないか。

⇒1・2段を使用しないと、書架スペースの確保が難しい。

(委員) 階段傍の壁面書籍の使用の工夫が必要ではないか。3年経過したなら見直すべきだ。

(委員) 子育て支援センターへおすすめ絵本の紹介とはどのようなことをするのか。

⇒毎月3～5冊をお薦めとして、飾っていただいている。

(委員) 紹介した本を、ホームページに載せたり、ブックリストを作るなり活用していただきたい。

(委員) 朗読会の内容は

⇒今検討中だ。

②その他

図書館ボランティアの状況を報告し、質疑意見なし

*以上閉会